

日本ソルフェージュ研究協議会

第12回 講演会

演奏基礎理論としてのソルフェージュを目指して ～声楽作品を通して見る音楽解釈～

- 1 コレペティートアとは
- 2 声楽作品を通して見る音楽解釈
- 3 ソルフェージュから演奏基礎理論へ

日本ではあまり馴染みがありませんが、指揮者や舞台監督にも匹敵する重要性を持つコレペティートア。2021年の講演会は、コレペティートアの第一人者である三ツ石潤司本協議会理事から、コレペティートアの仕事内容や重要性、また、コレペティートアの立場から見た音楽解釈やソルフェージュへの応用等について、豊富な実体験に基づいた知見が語られます。昨年来続いている Web 配信ですが、普段触れられることが少ない世界について興味深い事柄が沢山明かされることでしょう。是非お見逃し無きよう、皆様のご視聴をお待ち申し上げます。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺健二

収録：東京音楽大学・池袋キャンパス

Web 配信期間：

2021年6月11日(金) 20:00～7月12日(月) 10:00まで(1ヶ月)

演 者：三ツ石潤司

講演内容：「コレペティートアの体験を通じ声楽作品を通して見る音楽解釈とそれを活かす演奏基礎理論としてのソルフェージュへ」



三ツ石潤司 (みついし じゅんじ)

兵庫県生まれ、東京藝術大学大学院博士課程（音楽学）単位取得。アンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史にコレペティツィオン、伴奏を学ぶ。その後ウィーン国立音楽大学に学んだのち同学で初めてのアジア人声楽科専任講師としてリート・オラトリオ科でエディット・マティス教授のアシスタントなどを務める。その傍らウィーン、パリを始めヨーロッパ各地の劇場や音楽祭でコレペティートア、またロームミュージックファンデーション主催の音楽セミナー（指揮指導小澤征爾氏）講師として活躍。2008年帰国後は、コレペティートア、伴奏者、作曲家として活動。伴奏法や演奏解釈を中心に後進の指導にあたっている。2008年より武蔵野音楽大学教授、2021年より東京藝術大学准教授。長年の功績に対して2009年にオーストリア共和国功労金章受章。

視聴は以下の会員ログインの URL もしくは右下の QR コードからお入りください。

<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

会員ログイン用 QR コード

●問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567（留守番電話）

E-mail : ni.sol.ken@gmail.com

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

Homepage



facebook

